

輸出管理DAY

for ACADEMIA

Export Control Day for Academia, 2023



【日 時】 2023年9月22日(金)
10:30~17:20

【場 所】 東京理科大学 葛飾キャンパス
図書館大ホール
(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

主 催 : 輸出管理DAY for ACADEMIA(EFA)実行委員会 共 催 : 東京理科大学

後 援 : 文部科学省・経済産業省・外務省・法務省・特定非営利活動法人 産学連携学会・
一般財団法人 安全保障貿易情報センター(CISTEC)・一般社団法人 大学技術移転協議会 (UNITT)・
株式会社 日刊工業新聞社・日本安全保障貿易学会 (JAIST)・公益社団法人 日本技術士会・
一般社団法人 日本知財学会・一般社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

協 賛 : 合同会社 日本輸出管理研究所

○本プログラムは、下記の輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) Website の「最新情報」に掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

○講演資料等は、下記の Website の「最新情報」に、少なくとも 2023年10月31日(火)まで掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

<https://efa.ken-shin.net/>

輸出管理 DAY for ACADEMIA



大学輸出管理を今一度、適切に理解し対応する。そして、 より一層の深化へ –10 回目の EFA 大会を迎えて–

大学・研究機関等における安全保障輸出管理に関する実務知識の普及と関係者の意識の向上を図ることを目的として、大学等に所属する実務者が中心となり、関係する政府機関、産業界にも呼び掛けて、2013年に第1回目を開催して以来、これまで9回の「輸出管理 DAY for ACADEMIA」の年次大会（以下「EFA大会」といいます。）を実施してまいりました。

EFA大会は、大学等の輸出管理関係者を中心としたコミュニティ形成に大いに資するとともに、大学等における輸出管理業務の問題の共有化、輸出管理に関する意識啓発、輸出管理業務の質の向上に意義あるイベントであり、継続して取り組むことの必要性も、参加された皆様を中心にご理解いただいているところです。

2023年9月22日（金）に開催の「輸出管理 DAY for ACADEMIA 2023 (EFA2023)」におきましても、関係各機関にご協力をいただくことで、これまでと同様に本大会が意義深いものになると考えております。

ご案内の通り、国際社会情勢の急激な変化を受け、大学等の社会的役割の変容とともに大学が輸出管理に取り組む意義も変わり続けており、大学等の規模や実情等に応じて、より高度な輸出管理の実施が求められています。そこでEFA2023では「大学輸出管理を今一度、適切に理解し対応する。そして、より一層の深化へ –10回目のEFA大会を迎えて–」をテーマに“留学生・研究者の入口管理”と“みなし輸出管理の明確化を運用してみてもの課題”を取り上げて開催します。また、午前中、チュートリアルセッションとして“研究インテグリティ・セキュリティ”について取り上げます。本大会の開催を通じて、大学等における輸出管理体制がより適切に実施されることを目指します。

輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長
狩野 幹人（三重大学 准教授）

目 次

プログラム等-----	5
運営資金等を支援いただいた企業・機関-----	14
輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員名簿-----	18

プログラム等

【テーマ】 大学輸出管理を今一度、適切に理解し対応する。

そして、より一層の深化へ –10 回目の EFA 大会を迎えて–

【プログラム】

10:30～12:00 チュートリアルセッション 「研究インテグリティ・セキュリティ」

【概要】

・背景：研究インテグリティ・セキュリティに関して、政府により「研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保に係る対応方針について」（令和3年4月27日）が決定され、本方針に従い競争的資金の指針、チェックリスト雛型が公表されました（いずれも令和3年12月17日）。これにより競争的研究費へ応募の研究者等は、透明性確保のために必要な情報の適切な報告を求められ、大学・研究機関としても、適切なリスクマネジメントの強化の対応をすべきとされています。

・フォーカス：アカデミアでの不正な技術流出が問題となる中、日本において研究インテグリティ・セキュリティの捉え方は様々で、その本質を理解することが難しいとの意見も多くあります。そこで、本セッションでは、研究インテグリティ・セキュリティの背景や定義、全体像や事例等の説明及び質疑応答を行うことで、本質的意義を解き明かし、大学・研究機関の輸出管理実務者等において、関連する業務範囲を明快に理解できるセッションを行います。

・テーマ：本セッションにおいては、モデレーターによる趣旨説明の後、4名の講演者より(1)インテグリティが注目を集める背景と国際動向(2)大学から見た“研究インテグリティ・セキュリティ”の経緯と動向、大学及び輸出管理担当者の取組み(3)アカデミアの研究の現場で研究セキュリティ・研究インテグリティについて共通認識を持つための概念整理と、現場の混乱と原因の実例紹介(4)大学としての具体的な取組み事例について発表します。その後、質疑応答を行い、活発な意見交換により大学・研究機関等の輸出管理実務者等において研究インテグリティ・セキュリティの本質的意義の理解を深めていきます。

モデレーター：石川 綾子(名古屋大学)

パネラー：明谷 早映子(東京大学)、菊地 乃依瑠(科学技術振興機構)、
佐藤 弘基(九州大学)、中田 修二(東海大学)
※登壇者の略歴・発表題目は8～10頁を参照。

12:00～13:30 昼食

《総合司会：宮下 史子（東京大学）》

13:30～13:35 主催者挨拶

狩野 幹人(輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長)

13:35～13:40 共催団体挨拶

向後 保雄(東京理科大学 研究担当副学長)

13:40～13:55 来賓挨拶

文部科学省 高等教育局 参事官(国際担当) 小林 洋介

経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易管理課長 横田 純一

外務省 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課長 横田 直文

13:55～15:25 パネル討論①「留学生・研究者の入口管理について

—キャッチオール規制の観点から—

【概要】

・背景：新型コロナウイルス感染症に関する水際対策が緩和され、国際的な人の往来が再開したことで、数年間、入国を制限されていた留学生や研究者の来日が一気に増加しており、その受入れの対応が各大学の課題となってきています。

さらに、2022年5月から開始されたみなし輸出の対象の明確化により、技術提供の場合に関して、日本への居住期間に関係なく、特定類型該当者に対しては、継続的に技術提供を管理しなければならないため、その対応等による担当部署の負担が増えています。

・フォーカス：留学生・研究者の受入れにおいては、キャッチオール規制の観点から当該留学生や研究者に関する様々な要因に対する考慮が必要となりますが、確認すべき要因や確認の程度などについて明確な基準はないため、安全保障輸出管理初心者にとっては、「この判断で大丈夫か」と不安の対象になっています。そこで本セッションでは、安全保障輸出管理の経験の浅い担当者向けに、大学において大きな負担となっている留学生や研究者の受入れを正確に、効率よく行えるためのキャッチオール規制に関する入

口管理方法について紹介し、議論を行います。

・テーマ：本セッションにおいては、モデレーターによる趣旨説明の後、経済産業省から「入口管理におけるキャッチオール規制の観点からのチェックの必要性、体制整備」について基調講演をいただき、理系の単科大学、大規模大学、中規模大学の管理例として、実際の管理例の紹介、ロシア制裁に関する管理方法、担当教員とのコミュニケーション等について紹介します。

その後、パネルディスカッションにおいて、効率よく、正確に留学生・研究者の入口管理を行うための各大学の取組みやキャッチオール規制に関する判断に過剰反応しないための視点や考え方についても議論します。

モデレーター：金 美善（大阪大学）

基調講演「留学生・研究者の入口管理」：丸山 翔（経済産業省）

パネラー：大林 明彦（北海道大学）、小野 薫（電気通信大学）、宮田 有紀（長崎大学）

※登壇者の略歴・発表題目は10～11頁を参照。

15:25-15:45 休憩

15:45-17:15 パネル討論②「みなし輸出管理の明確化を運用してみたの課題」

【概要】

2022年5月1日施行の「みなし輸出」管理の法令改正により、「みなし輸出」管理の明確化の運用がスタートし、居住者に新たな概念「特定類型」が追加され、対応については手探り状態の大学が大半だと思います。

特に産業界と大学での見解の相違に起因して、共同研究契約書を締結する際に交渉が難航することが多く見受けられます。

本セッションでは、「みなし輸出」管理をテーマに、経済産業省からは制度の概要とよくある質問事項、複数大学からは取組み事例と課題についてそれぞれ紹介し、1年間強運用して見えてきた課題および改めての適切な理解や対応について、登壇者間で仮想事例を使って意見交換を行い、参加者と情報共有します。

特に安全保障輸出管理業務の経験の浅い方の考え方の一助になれば幸いです。

経済産業省説明「みなし輸出管理の運用明確化に関するよくあるご質問について」

：沼田 裕璃（経済産業省）

モデレーター：佐々木 雅英（広島大学）

パネラー：佐野 恵利子（中央大学）、高橋 真一（芝浦工業大学）、初 春（九州大学）

コメンテーター：蔭山 有生(KDDI)、山越 祥子(筑波大学)、沼田 裕璃(経済産業省)
※登壇者の略歴は11～13頁を参照。

17:15-17:20 閉会宣言 石川 綾子(輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会副委員長)

17:40- 情報交換会

【東京理科大学葛飾キャンパス管理棟 2階学生食堂】

【パネル討論登壇者の略歴および発表題目】

チュートリアルセッション「研究インテグリティ・セキュリティ」

◆モデレーター 石川 綾子 (名古屋大学) 学術研究・産学官連携推進本部 URA/輸出管理マネージャー
<略歴> 2008年3月 名古屋大学法学部卒業 2011年3月 名古屋大学大学院法学研究科修了 2012年3月 名古屋大学 リサーチアドミニストレーション室 URA (法的・倫理的支援)、輸出管理マネージャー 2014年8月 経済産業省 安全保障貿易管理調査員(兼務) 2016年9月 国立遺伝学研究所 ABS(遺伝資源)大学体制構築 WG 委員(兼務) 2022年 経済産業省 安全保障貿易自主管理促進事業アドバイザー(兼務) 2023年4月～現在 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部研究支援・人材育成部門研究インテグリティユニット URA、輸出管理マネージャー

◆講演(1) 菊地 乃依瑠 (科学技術振興機構) 研究開発戦略センター フェロー
<略歴> 2013年～2016年 一般社団法人サイエンス・メディア・センター メディアオフィサー 2015年～2017年 京都大学国際広報室 2018年～2022年 政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター 専門職 2022年～現在 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー

<p><題目> 研究の国際化とインテグリティ</p>
<p>◆講演（2） 中田 修二（東海大学） 総合科学技術研究所 客員教授</p>
<p><略歴> 1972年～2009年 大阪大学基礎工学部制御工学科卒業後、日本電気株式会社に入社し 中央研究所等にて研究開発に従事 1981年～1982年 米国ミシガン大学 Visiting scholar 2009年～2014年 横浜国立大学 教員 2014年～2017年 大阪大学 研究推進・産学連携部 特任教授 2018年～2020年 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 教授 2020年4月～現在 東海大学 総合科学技術研究所 客員教授</p> <p><題目> 研究インテグリティ・セキュリティー大学の取組みについてー</p>
<p>◆講演（3） 明谷 早映子（東京大学） 医学系研究科 利益相反アドバイザー室 室長 / 博士(理学)・弁護士・プリンシパ ルURA</p>
<p><略歴> 2003年3月 東京大学，大学院理学系研究科，化学専攻 博士課程修了 2003年4月 (独)産業技術総合研究センター 入職 2009年3月 慶應義塾大学，法務研究科（法科大学院）修了 2013年12月 弁護士登録 2014年1月 都内知財系法律事務所勤務（弁護士として） 2014年7月～現在 東京大学</p> <p><題目> 研究活動と‘Research Integrity’</p>
<p>◆講演（4） 佐藤 弘基（九州大学） 法務統括室・室長補佐／特任教授</p>
<p><略歴> 【職歴】 2007年 九州大学知的財産本部（～2011年） ＜兼業＞県内複数大学 非常勤講師（～現在） 2011年 九州大学国際法務室（～2019年）</p>

<p>2019年 九州大学法務統括室（～現在） <兼業>経産省安全保障貿易自主管理促進事業アドバイザー（～現在）</p> <p>2021年 <兼業>福岡大学研究推進部 客員教員（～現在）</p> <p>【主な学外活動】</p> <p>2012年 輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会（～現在）</p> <p>2017年 産学連携学会九州支部幹事（～現在）</p> <p>2022年 G7 科学トラック研究セキュリティ・インテグリティ作業部会 VA/TK 管理委員会メンバー（～現在）</p> <p>【学歴】</p> <p>2007年 九州大学大学院法学府国際関係法学専攻博士課程単位取得満期退学</p> <p>2011年 九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻(専門職大学院)修了</p> <p><題目></p> <p>九州大学の研究インテグリティ確保に向けた取組み</p>
--

パネル討論①「留学生・研究者の入口管理についてーキャッチオール規制の観点から」

<p>◆モデレーター</p> <p>金 美善（大阪大学）</p> <p>教授、安全保障輸出管理マネージャー、研究インテグリティ・マネジメント室長</p>
<p><略歴></p> <p>2007年9月 帝塚山大学法政策学部 助手</p> <p>2009年4月 大阪大学工学研究科 特任助教</p> <p>2011年6月 オランダライデン大学付属地域研究センター 客員研究員</p> <p>2013年3月 大阪大学法学研究科 博士後期課程修了（法学博士）</p> <p>2015年4月 大阪大学工学研究科 特任講師</p> <p>2018年10月 大阪大学レーザー科学研究所 特任講師</p> <p>2020年12月 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 産学連携本部 主任</p> <p>2022年4月～現在 大阪大学 研究オフィス 教授</p> <p>近畿地区大学輸出管理担当者ネットワーク世話人</p>

<p>◆講演（1）</p> <p>小野 薫（電気通信大学）</p> <p>研究戦略推進室チーフ URA（特定准教授）兼 輸出管理マネージャー</p>
<p><略歴></p> <p>電機メーカーでの勤務を経て、2019年電気通信大学 URA に着任。安全保障輸出管理業務</p>

を担当。経済産業省安全保障貿易自主管理促進アドバイザー。輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会事務局。多摩地域大学等安全保障輸出管理ネットワーク世話人。

<題目>

キャッチオール規制に対して何をどう適切かつ効率良くやるか、事例によるご参考話

◆講演（2）

大林 明彦（北海道大学）

産学・地域協働推進機構 安全保障輸出管理 教授

<略歴>

1983年3月 東京大学工学部計数工学科卒業

1983年4月 日本電気株式会社入社 一貫してコンピュータ開発に従事

1990年7月～ 一年間米国マサチューセッツ工科大学客員研究員（Laboratory for Computer Science, Prof. B.Liskov）

2011年5月 輸出管理本部に異動 審査総括

2016年5月～現在 国立大学法人北海道大学 産学・地域協働推進機構 教授

<題目>

北海道大学における留学生等の入口管理

◆講演（3）

宮田 有紀（長崎大学）

研究開発推進機構 リスクマネジメント部門 URA

<略歴>

機械メーカー、病院での勤務を経て、2017年長崎大学着任。2019年より、輸出管理業務担当。長崎県内大学等安全保障貿易管理に係る勉強会世話人。

<題目>

長崎大学における留学生等の入口管理と事例紹介

パネル討論②「みなし輸出管理」の明確化を運用してみたの課題

◆モデレーター

佐々木 雅英（広島大学）

輸出管理マネジメント室 主査

<略歴>

1989年3月 広島修道大学法学部卒業

1989年4月～1991年11月 民間放送関連会社、精密測定器メーカーに勤務

1991年12月～2019年10月 大学職員としては、山口大学から始まって中国地域の文部科学省系機関（広島大学、山口大学、呉工業高等専門学校）を異動し、総務・人事・財務・研究協力等の業務に従事する。

2019年11月 輸出管理マネジメント室設置により安全保障輸出管理主担当となる。
STC Associate (2020) STC Advanced (2022)

◆パネラー

佐野 恵利子 (中央大学)
研究推進支援本部 URA

<略歴>

お茶の水女子大学大学院物理学専攻修了後、通信系企業で、物性基礎研究、そして、研究企画・経営企画に従事。

2014年より、アカデミアで、研究マネジメント職 URA として勤務。

現職では、安全保障輸出管理の体制整備・啓発及び運用、研究 IR 等を担当している。

◆パネラー

高橋 真一 (芝浦工業大学)
研究推進室 研究推進課

<略歴>

2021年6月～現在 安全保障貿易管理担当者

◆パネラー

初 春 (九州大学)
法務統括室 国際法務主任

<略歴>

2005年 福岡大学法学部 卒業

九州大学大学院法学府修士課程入学、留学 (アイルランド・ダブリン)

2008年 九州大学大学院法学府国際関係法学専攻 (国際経済法) 修士課程修了
修士号を取得

2008年 貿易会社等複数企業に勤務

2013年 株式会社安川電機知的財産本部にて国内外の知財・法務関係に従事

2015年 九州大学国際法務室 (現法務統括室) にて国際法務及び安全保障手輸出管理
関連業務に従事 現在に至る

2015年～2016年 九州大学受託事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業 (文
部科学省)」米国大学の現状調査チームメンバー

2016年 Office of General Counsel (OGC), American University 法務研修
Hogan Lovells US LLP 法律事務所法務研修 (ワシントン)

◆コメンテーター

蔭山 有生 (KDDI)
知的財産室知財渉外グループ

<略歴>

上智大学法学部国際関係法学科卒、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了

・安全保障貿易管理士(総合)、AIPE 認定知財アナリスト(特許)

・政府系機関、電子部品メーカーを経て現職。現在は経済安全保障/輸出管理、IP ランドスケープ、特許ライセンスなどに従事。

・(一財)安全保障貿易情報センター各専門委員会委員(国際法制度分科会、情報セキュリティ分科会、あり方専門委員会など)、(一社)日本知的財産協会ライセンス第1委員会委員長代理なども務める。

◆コメンテーター

山越 祥子 (筑波大学)

利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授

<略歴>

2014年3月 東京大学 農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 博士課程修了(農学)

2014年3月 東京大学 本部ライフサイエンス研究倫理支援室 特任助教

2018年12月 大阪大学 研究オフィス 特任講師(常勤)

2022年9月～現在 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授

運営資金等を支援いただいた企業・機関

一般財団法人安全保障貿易情報センター

合同会社日本輸出管理研究所

株式会社日興イノベーション

株式会社日立ソリューションズ

輸出管理の現場で
必要な問題に対応できる、
中堅的人材の育成と
認定を目的とした、
中間レベルの
試験コース

STC Advanced

安全保障輸出管理実務能力認定試験 **STC Advanced** のご活用を！

— 以下の様な企業・大学の方にオススメです！ —

- Associate は取得したものの、Expert では受かる自信がない。
- 法令の基本はわかったものの、実務の力をもっと磨きたい。
- 米国の EAR などをもっと勉強して、力を試したい。
- ゆくゆくは、輸出管理の専門家として活躍したい。
- 法務関係の柱のひとつとして、素養を深めたい。
- 関係法令の知識だけでなく、実務上の解釈や運用も十分に理解している担当者を把握したい。
- 輸出管理の実務に明るい担当者を育成したい。



1 | STC Advanced を新たに導入！

- ・ Associate から Expert へとステップアップする中級段階の試験としてぴったり
- ・ 実務に即した試験内容で、実践的な能力向上に役立つ
- ・ 合格率はおよそ 50～60%、頑張れば合格が視野に！
- ・ 年 2 回 実施なので、再挑戦も可能



2 | 無料の e-ラーニングを提供！

- ・ 演習問題集の例題がすべて掲載されています
- ・ スマホで、いつでもどこでも学習できます



3 | 演習問題集は、輸出管理学習のテキストとしても最適！

実務のすべての論点をカバー

<STC Advanced> テキスト・問題集 改訂第 5 版 好評発売中！！

4 | STC セミナーやその Web セミナーもご活用を！

出題範囲

輸出管理実務に関連する主要かつ実践的な問題、及びEARの基礎的な問題

※詳細は下記URLをご参照ください

出題方法 択一式 (2 択又は 3 択) 25 問

受験料 7,700 円 (税込)

試験時間 **70 分**

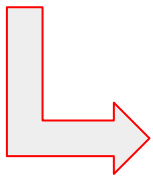
詳細内容、お申込み、お問合せは CISTEC のホームページをご覧ください。

<https://www.cistec.or.jp/nintei/index.html>

EXPORT CONTROL INNOVATION !

輸出管理を創意工夫する 日本輸出管理研究所

- ★ 外為法の輸出者等遵守基準大丈夫ですか？
- ★ 組織として該非判定能力を高めませんか？
- ★ 専門家育成の必要はありませんか？
- ★ 米国の輸出管理法制や制裁の知識は十分ですか？
- ★ 効率的な輸出管理について考えてみませんか？



**責任の重大さに気がつき困っている
輸出管理責のご担当の方は
是非、
日本輸出管理研究所にご相談下さい**
アポイントはE-Mail(j.takano@jecl.net)でお願いします。



Japan
Export Control
Lab.

会社情報

合同会社日本輸出管理研究所
〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘1-1-3E116
代表者: 高野順一
設立: 2015年10月2日
全省庁統一資格(政府調達入札資格)
業者コード: 0000182044
(経済産業省委託調査事業受託実績)
URL: <https://www.jecl.net>
e-mail: j.takano@jecl.net
tel: 090-9644-7456

海外規格・認証制度 調査支援サービス

(一社) JQA (日本品質保証機構) との連携に基づいて、輸出先の強制規格 (技術基準、試験方法) 及び認証制度の事前調査を行います。

【サービス概要】

現状の
技術スペック・
仕様調査

規格・認証の
範囲の
抽出・確認

海外の強制規格、
認証制度の
調査実施、
結果の報告

【弊社からの調査報告例】

- ▶ 御社の製品・技術の変更箇所、変更規模の確認 (GAP 分析に関連)
- ▶ 認証手続の可否、申請情報の提供



株式会社日興イノベーシア
行政書士ファインテック技術法務事務所

愛知県名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル711
電話：052-228-9772
mail: h.indou@nikko-innovatia.com

ファインテック 海外規格

輸出管理を 漏れなく！ 手早く！ 安全に！

HITACHI
Inspire the Next

法令リスク回避 & コンプライアンス強化

大学や研究機関にとっての安全保障貿易管理とは？

規制対象となる貨物や技術を、許可を取らずに輸出・提供してしまうと法律に基づき罰せられる場合があります。輸出管理はコンプライアンスの一環として、研究やその成果についても適切な管理が要求されています。



日立ソリューションズの「安全保障貿易管理ソリューション」は
輸出審査業務のフロー化や**各種チェック業務**など

安全保障 日立 検索

システム活用で**抜け漏れ**を**防止**し、**法令リスク回避**を**支援**します。

NACCSから輸出入実績データを取り込み、事前取引審査の実績確認が可能！

安全保障貿易管理ソリューション www.hitachi-solutions.co.jp/ttp/



株式会社 日立ソリューションズ www.hitachi-solutions.co.jp

輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員名簿

2023年9月8日現在、五十音順

No.	氏名	所属	部署・役職	備考
1	足立和成	山形大学	大学院理工学研究科教授	委員
2	天児史子			事務局
3	石尾則明	大阪公立大学	学術研究支援部研究推進課 輸出管理アドバイザー	オブザーバー
4	石川綾子	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーター 輸管マネージャー	副委員長
5	石田英之	立命館大学	総合科学技術研究機構 招聘研究教授 輸出管理アドバイザー	委員
6	石原祐志	慶應義塾大学	学術研究支援部 総務担当 専門員	委員
7	伊藤克志		(外部アドバイザー)	オブザーバー
8	伊藤正実	群馬大学	研究産学連携推進機構 教授 産学連携知的財産部門 副部門長、高度人材育成部門 研究支援人材育成コンソーシアム室長、輸出管理アドバイザー	監査人
9	印東宏紀	株式会社日興イノベーション	行政書士	オブザーバー
10	大林明彦	北海道大学	産学・地域協働推進機構 教授	委員
11	荻原康幸	九州工業大学	先端研究・社会連携本部 産学イノベーションセンター マネージャー (知的財産・技術移転担当)	委員
12	小野薫	電気通信大学	研究戦略推進室 チーフURA (特定准教授) 兼 輸出管理マネージャー	副事務局長
13	蔭山有生	KDDI株式会社	知的財産室知財渉外グループ	委員
14	狩野幹人	三重大学	学長補佐 (社会連携 (リスクマネジメント・知財) 担当)、みえの未来国共創機構 准教授、知的財産マネジメント部門 部門長、産学官連携リスクマネジメント部門 副部門長、大学院地域イノベーション学研究所 准教授	委員長
15	金美善	大阪大学	研究オフィス 教授 輸出管理マネージャー 研究インテグリティ・マネジメント室長	副委員長
16	小林秀幸	関東化学株式会社	貿易管理室 次長	オブザーバー
17	古原聡美	九州工業大学	コンプライアンス室/研究公正推進係 輸出管理専門員	オブザーバー
18	今野瑞穂	東京工業大学	企画・国際部国際連携課専門職 (企画・国際総括)	オブザーバー
19	佐々木雅英	広島大学	輸出管理マネジメント室 主査	委員
20	佐藤弘基	九州大学	法務統括室 室長補佐・特任教授	委員
21	佐野恵利子	中央大学	研究推進支援本部 URA	委員
22	白石美知子	芝浦工業大学	研究推進室 次長	副事務局長
23	高野順一	合同会社 日本輸出管理研究所	代表	委員
24	高橋真一	芝浦工業大学	研究推進室 研究推進課	オブザーバー
25	中田修二	東海大学	総合科学技術研究所 客員教授	委員
26	中塚祐子	奈良先端科学技術大学院大学	研究推進機構 研究推進部門 URA	委員
27	中野実	株式会社 日立製作所	研究開発グループ 技術戦略室 技術統括センタ 産学官連携部	オブザーバー
28	則竹幹子	CISTEC	国際輸出管理調査・協力部 兼 情報サービス・研修部 上席主任研究員	副委員長
29	畑良三	CISTEC	輸出管理アドバイザー 兼 該非判定アドバイザー	オブザーバー
30	初春	九州大学	法務統括室 国際法務主任	オブザーバー
31	樋口禎志		安全保障輸出管理コンサルタント	オブザーバー
32	平田和也	東京工業大学	企画本部 国際企画室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
33	福井誠司	東京工業大学	企画本部 国際企画室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
34	松原幸夫			特別顧問
35	水谷隆	三豊科学技術振興協会	理事長	オブザーバー
36	宮下史子	東京大学	安全保障輸出管理支援室 上席高度学術員	副事務局長
37	宮林毅	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 学術・連携リスクマネジメント部門 部門長 特任教授	オブザーバー
38	山越祥子	筑波大学	利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授	副委員長
39	山田朗	愛媛大学	先端研究・学術推進機構 先端研究高度支援室 シニア・リサーチアドミニストレーター	委員
40	山之内雄二	横浜国立大学	研究推進機構 輸出管理マネージャー	委員
41	渡辺修	東京理科大学	研究推進部 副主幹	事務局長

輸出管理 DAY for ACADEMIA 2023 資料

発行	2023 年 9 月
発行者	輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会
HP	https://efa.ken-shin.net/
E-mail	efa.academiaoffice@gmail.com
